

# 令和5年度県民アンケート調査（確報）結果 要点について

総務部知事公室 統計分析課

## 1 生活全般について(経年変化をみる項目 一部除きH20から実施)

- 現在の暮らし向きに満足している人の割合は59.7%で、昨年度から横ばい。 【問1】  
「満足している」 + 「十分とはいえないが一応満足している」 0.7ポイント減少 (R4:60.4%→R5:59.7%)
- 昨年と比較して暮らし向きが苦しくなった人の割合は43.8%で、昨年度から増加。 【問2】  
「少し苦しくなった」 + 「とても苦しくなった」 4.7ポイント増加 (R4:39.2%→R5:43.8%)
- 暮らし向きが「苦しくなった」理由のうち、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」と答えた人の割合は61.8%で、昨年度から大きく増加。 【問4】  
9.7ポイント増加 (R4:52.1%→R5:61.8%)
- 日常生活で悩みや不安を「感じている人」の割合は79.0%と昨年度から増加。  
「感じていない人」の割合は19.4%と昨年度から横ばい。 【問5】
- ・「悩みや不安を感じている」 …1.4ポイント増加 (R4:77.6%→R5:79.0%)
  - ・「悩みや不安を感じていない」 …0.7ポイント減少 (R4:20.1%→R5:19.4%)
- 奈良県が住みやすいと感じている人の割合は65.9%で、昨年度から横ばい。 【問7】  
「とても住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」 0.9ポイント増加 (R4:65.0%→R5:65.9%)

## 2 生活に関する重要度・満足度(経年変化をみる項目 H20から実施 5段階ポイント評価)

- 平均ポイントは、重要度は0.06ポイント減少(R4:4.05→R5:3.99) 【問11】  
満足度は0.03ポイント減少(R4:3.02→R5:2.99)
- 重要度の1位…「急病時に診てもらえる医療機関があること」  
0.02ポイント増加 (R4:4.58 1位 → R5:4.60 1位)
- 満足度の1位…「文化遺産や史跡が大事にされること」  
0.04ポイント増加 (R4:3.55 1位 → R5:3.59 1位)

### 3 観光【賑わう「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 令和2年度以降に奈良県内で宿泊を伴う観光をした人の割合は 19.7%。 【問 12】  
「奈良県内と県外で観光した」 + 「奈良県内のみで観光した」
- 宿泊を伴う奈良県内観光をする人を増やすために必要だと思う施策について、最も多かったのは、「魅力的な宿泊施設の増加 (53.1%)」 。 【問 14】
- 平城京天平祭の認知度について「行ったことがある」人は 17.1% 【問 15】  
「知っていて、よく行く」 + 「知っていて、行ったことがある」
- 「平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば」に「行ったことがある」人は 53.0%。 【問 16】

### 4 農林業【栄える「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 県内産食材の認知度上位 3 食材 【問 17①】
- |        |        |                                |
|--------|--------|--------------------------------|
| 大和牛    | …69.2% | 7.5 ポイント増加 (R2:61.6%→R5:69.2%) |
| ヤマトポーク | …64.8% | 6.1 ポイント増加 (R2:58.8%→R5:64.8%) |
| 大和肉鶏   | …56.1% | 0.4 ポイント増加 (R2:55.7%→R5:56.1%) |
- 県内産食材を県内で「購入又は飲食したことがある」人の割合 【問 17②】
- |        |        |                                |
|--------|--------|--------------------------------|
| ヤマトポーク | …41.5% | 3.1 ポイント増加 (R2:38.4%→R5:41.5%) |
| 大和牛    | …39.0% | 1.5 ポイント増加 (R2:37.6%→R5:39.0%) |
| 大和肉鶏   | …36.0% | 0.3 ポイント減少 (R2:36.3%→R5:36.0%) |

### 5 暮らしやすいまちづくり【愉しむ「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 「奈良の木」を「知っている」人の割合は 40.2%。 【問 19】  
「内容を含めて詳しく知っている」 + 「ある程度知っている」 + 「聞いたことはあるが、内容は知らない」
- 「奈良の木」の暮らしへの取り入れ意向のある人の割合は 33.6%。 【問 20】  
「既に暮らしに取り入れている」 + 「取り入れたい」

### 6 少子化対策【愉しむ「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- 子育てに関する 6 項目のうち最も満足度が高かったのは「3.保育所が充実している(2.94 ポイント)」で、R4 年度より減少。 【問 21】  
0.08 ポイント減少 (R4:3.02 ポイント→R5:2.94 ポイント)

## 7 健康づくり【健やかな「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- この1年間に自らの健康づくりのためにしたことについて、最も多かったのは「野菜を食べるように心がける(72.5%)」。【問 23①】
- 今後したい健康づくりについて、最も多かったのは「自分にあった適度な運動をする(38.8%)」。【問 23②】
- 自転車利用の時の乗車用ヘルメットの着用状況については、「着用している」人の割合は15.4%で、令和4年度(7.5%)と比べ7.9ポイント増加。【問 27】  
「ほぼ毎回着用している」+「たまに着用している」+「通勤・通学時などに限定して着用している」
- 乗車用ヘルメットを着用しない理由について、最も多かったのは「着用が面倒だから(44.0%)」。【問 28】

## 8 文化振興【智恵の「都」をつくる】(今年のテーマ項目)

- この1年間に文化活動または文化鑑賞を行った人の割合は37.2%で、R4年度から横ばい。【問 31】  
0.5ポイント増 (R4:36.7%→R5:37.2%)
- 「ムジークフェストなら」を「鑑賞した」人の割合は19.4%。【問 33】  
「現地で観賞した」+「Web配信(事後配信を含む)で観賞した」+「現地とWeb配信(事後配信を含む)の両方で観賞した」
- 「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」を「鑑賞した」人の割合は18.4%。【問 35】  
「現地で観賞する形で参加した」+「Web配信(事後配信を含む)で観賞する形で参加した」+「現地とWeb配信(事後配信を含む)の両方で観賞する形で参加した」
- 「なら歴史芸術文化村」の訪問の有無について、「行ったことがある」人の割合は13.6%。【問 36】
- 音楽活動充実に向けて必要だと思う取り組みについて、最も多かったのは、「子ども向けの演奏会・楽器に触れることができるイベントの開催(43.1%)」。【問 37】

(注) 本資料に表示する数値は、小数第2位または第3位で四捨五入しています。

ただし、ポイント差については、四捨五入前の数値で計算しているため、文中に表示する数値の差と一致しない場合があります。